

全国学力・学習状況調査から見える 岩美中 3 年生の姿

全国学力・学習状況調査の結果が 8 月に公表されました。遅くなりましたが結果の概要をお伝えします。令和 5 年度の実施教科は国語と数学に加えて英語も加わりました。各教科における、岩美中学校の結果は以下のようになります。

【各教科における学力調査の傾向】

	国語	数学	英語
岩美中学校	73.0	43.0	40.0
鳥取県（公立）	69.0	50.0	42.0
全国（公立）	69.8	51.0	45.6



【全国学力・学習状況調査実施の様子】

- ・ 国語は県平均よりも +4.0、全国平均よりも +3.2 でいずれも上回っていました。
- ・ 数学は県平均よりも -7.0、全国平均よりも -8.0 でいずれも下回っていました。
- ・ 英語は県平均よりも -2.0、全国平均よりも -5.6 でいずれも下回っていました。

【各教科における解答の傾向】

- ・ **【国語】** 問題別に分析すると、基本的な問題から応用的な問題まで対応する力がついています。特に、自分の意見を述べる記述式の問題の正答率が県平均、全国平均よりも高い傾向にありました。これは、授業等で問題に沿って自分の意見を述べることや振り返りを自分の言葉で記述することの成果が現れているのではないかと予想しています。「国語の授業で、自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にするために必要な情報を引用して書いている」と答えている生徒が 83.9%（鳥取県比+17.2%、全国比+20.0%）からも記述に対する苦手意識が少ないことを示していると思われます。また、記述式の問題において空欄の生徒の割合が少なく、最後までねばり強く答えていた生徒が多かったことも成果として現れていました。
- ・ **【数学】** 問題別に分析をすると、具体的な数をあてはめて計算すること、分配法則を使った分数の計算など答えを導き出すということは全国平均、県平均を上回っていました。つまり、計算問題に習熟できているという傾向があります。反面、なぜそのような答えになるのかを「説明すること」、「証明を振り返って読み取ること」を苦手としていることがわかりました。苦手としている問題は空欄としている生徒が多く全国、鳥取県以上に割合が大きい傾向にあることもわかりました。数学の授業内容がよくわかるという生徒(83.9%)がいる一方で、数学の勉強が好きな生徒が少ない(60.7%)のは、このあたりが要因になっている可能性があると思われます。
- ・ **【英語】** 「英語の勉強は好き」と答えた生徒は多く（80.3%）、全国(51.9%)や鳥取県(53.2%)と比較しても 30%以上も上回っています。「聞くこと」を得意としている生徒の割合が多い傾向にあり



【1 年国語 研究授業の様子】

ます。これは、先生が6割以上の割合で英語を使って授業を進めている成果だと思われます。一方で「読むこと」と「書くこと」を苦手としているところがあります。特に教科書を離れて、「日常的な内容」や「社会的な内容」について問われている問題の正答率が低い傾向にあります。教科書にある内容だけでなく、さまざまな話題について英語で表現することが必要であるかと思われます。



【授業等での対応について】

- ・ これまでどおり基本的事項の習熟については継続していきます。さらに、発展問題にも取り組めるような授業形態にしていきます。
- ・ いずれの教科においても、書き切ることが不十分であるように感じています。そのため、様々な場面で自分の意見や感想を書くという活動場面を取り入れていきたいと考えています。
- ・ 学習内容を活用する問題、特に生活に密着するような場面設定した問題を取り扱った授業を加えるようにしていきます。

【学習状況調査の結果について】

学習状況についてアンケート形式の集計で行われた結果の概要です。質問項目は79あり、肯定的な評価の割合が全国平均を上回ったのは64項目(81%)でした。そのうち、県、全国と+10%以上の項目が36項目、+20%以上の項目が17項目ありました。

特徴的な項目が(表1)のようになりました。本年度の3年生は「学校に行くのは楽しい」生徒が83.9%となっています。「困りごとや不安があるときに、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる」(87.5%)ことで、安心して学校に通学できているのではないかと思います。また、「友達関係に満足している」こと(94.7%)も楽しいと答える要因になっているのではないかと思います。「授業でパソコン・タブレットなどのICT機器を週3回以上使っている」(96.5%)ので、生徒全員が、「学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つ」(100.0%)と思っています。また、「学校が休みの日に2時間以上の学習時間(インターネットを活用して学ぶ時間を含めて)勉強する」生徒の割合が高く(69.6%)、PC・タブレットを毎日持ち帰っていることも要因のひとつになっているのではないかと思います。

地域では、「今住んでいる地域の行事に参加している」生徒が多い(66.1%)です。そのためか、「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う」生徒が多い傾向(83.9%)にあります。地域の行事の制限が緩和される中、積極的に地域の活動に参加してくれたらと思います。

(表1)

質 問 項 目	岩美中	鳥取県	全国
学校に行くのは楽しい。	83.9	82.4	81.8
困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる。	87.5	69.6	66.4
友達関係に満足している。	94.7	89.9	88.7
1, 2年生の時に受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を週3回以上使用した。	96.5	76.2	61.1
学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思う。	100.0	94.6	93.3
今住んでいる地域の行事に参加している。	66.1	46.6	38.0
地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う。	83.9	68.1	63.9



【タブレットを活用した授業】